

★★★

筑西保健所感染症情報【R7年2月28日号 vol.R7-2】 保健指導課 e-mail : chikuho05@pref.ibaraki.lg.jp

★★★

【管内の感染症の発生状況等について】

- 管内の新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の定点当たり報告数はほぼ横ばいであり、第7週では4.73でした（管内の定点当たり報告数は別表グラフを併せてご覧ください。）。
- 管内のインフルエンザ定点当たり報告数は、年末年始に大きな増加がみられましたが、1月中旬以降減少し、第7週では0.45となっています。
- 主な感染症の定点当たり報告数

報告週	COVID-19		インフルエンザ		水痘		感染性胃腸炎		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		マイコプラズマ肺炎	
	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県	管内	茨城県
3週 (1/13~1/19)	6.73	8.53	13.55	19.34	0.14	0.09	4.43	4.49	0.71	4.31	2.00	0.92
4週 (1/20~1/26)	4.00	8.77	6.09	10.96	1.14	0.20	7.71	6.35	1.71	5.31	0.00	0.15
5週 (1/27~2/2)	5.09	7.60	3.27	4.65	0.57	0.13	6.71	6.15	1.71	4.51	0.00	0.85
6週 (2/3~2/9)	4.73	7.93	1.18	2.75	2.14	0.36	7.71	6.45	2.00	5.36	0.00	0.38
7週 (2/10~2/16)	4.73	7.76	0.45	2.38	1.14	0.39	7.43	7.69	1.29	4.41	1.00	0.23

- 全数把握感染症の発生届（管内）

報告週	二類感染症	三類感染症	四類感染症	五類感染症
3週 (1/13~1/19)				
4週 (1/20~1/26)				梅毒
5週 (1/27~2/2)	結核	腸管出血性大腸菌感染症		百日咳
6週 (2/3~2/9)				
7週 (2/10~2/16)				

★茨城県感染症流行情報週報（2025年第7週）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/weekly/documents/2025idwr07.pdf>

★茨城県感染症流行情報月報（2025年1月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/std/documents/2025mrp01.pdf>

★茨城県衛生研究所における病原体検出情報（2025年1月号）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/microbe/documents/202501kensyutu.pdf>

★インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等措置・集団発生等の状況について（第24報）

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2024_25flu24.pdf

★インフルエンザ流行情報について（第19報）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/2024sflureport19.pdf>

【感染性胃腸炎について】

- 昨年12月以降、管内において社会福祉施設等における感染性胃腸炎の集団発生が散発しております。感染性胃腸炎とは、ウイルスなどが原因となって引き起こされる胃腸炎の総称であり、原因となるウイルスにはノロウイルス、サポウイルス、アデノウイルス、ロタウイルスなどがあります。手指や食品などを介して体内入り、おう吐、下痢、発熱、腹痛などの症状を起こします。

主な原因となるウイルスにはアルコールによる消毒が効きにくいので、**予防には流水と石けんによる手洗い**が重要です。また、ウイルスは感染者のふん便や吐物に含まれるため、**処理の際には次亜塩素酸ナトリウムによる消毒**を行うことが大切です。

～感染性胃腸炎の注意点～

- ① スリッパや上履き、カートや車いすなど**移動手段の床面接触部分**を介して感染が広がることもある。
- ② 消毒箇所の素材によっては消毒が不十分になりやすいため、スチームなど**高温（85℃以上1～2分）**でウイルスを除去する方法も検討する。
- ③ おう吐物が塵埃となって飛散することで、空気を介して口に入り感染するため、**換気**を行う。

★感染性胃腸炎による集団発生等の状況について（第19報）

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/ityouen/documents/2024_i_g_report19.pdf

★ノロウイルスに注意！！（茨城県保健医療部）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/other/documents/noro-leaf.pdf>

【茨城県内の急性脳炎（脳症を含む）におけるインフルエンザ脳症について】

- 2024年年末のインフルエンザ定点当たり報告数が増加を受け、茨城県感染症情報センターでは県内のインフルエンザ脳症（5類感染症である急性脳炎のうち、病型の病原体としてインフルエンザウイルスの記載があった症例）についてまとめを作成しています。今シーズンの急性脳炎の報告数は、昨年同時期と比較すると少ない一方で、急性脳炎症例全体に占めるインフルエンザ脳症の割合は42.9%と過去10シーズンの中で最も高くなっております。

★茨城県内の急性脳炎（脳症を含む）におけるインフルエンザ脳症について

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/idwr/influenza/documents/innhurunousyou.pdf>

【梅毒の発生動向について】

- 梅毒は、梅毒トレポネーマ（*Treponema pallidum*）による細菌感染症で、主に性的接触により口や性器などの粘膜や皮膚から感染します。茨城県における梅毒報告数は、**2020年以降男女ともに4年連続で増加しており、2024年は324例と過去最多となりました。**茨城県感染症情報センターでは、近年の梅毒報告数の増加を受け、県内における梅毒症例の動向について情報をまとめています。

梅毒の症状は多様であり、病期によって症状の有無や出現する部位・内容が異なります。症状がある場合に早期に受診することや、心配な行為等がある場合に検査を受けることが大切です。保健所では、無料・匿名検査（予約制）を実施しておりますので、ご利用ください。

★感染症発生動向調査により届け出られた茨城県における梅毒の概要 2024年まとめ（茨城県感染症情報センター）

https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/kikaku/syphilis/documents/syphilis_2024.pdf

★梅毒が増加しています！（茨城県衛生研究所）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/eiken/topics/syphilis.html>

★性感染症の相談・検査（筑西保健所ホームページ）

<https://www.pref.ibaraki.jp/hokenfukushi/chikuho/hoken/shimohc/sodan/sodan-aids.html>